

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 27 年 5 月 7 日 (2015.5.7)

【公開番号】特開 2012-233165 (P2012-233165A)
 【公開日】平成 24 年 11 月 29 日 (2012.11.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-050
 【出願番号】特願 2012-84585 (P2012-84585)
 【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2014.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/00

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】
 【提出日】平成 27 年 3 月 19 日 (2015.3.19)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

溶融状態の少なくとも 1 つの結晶性構成成分を提供するステップと、
溶融状態の少なくとも 1 つの非晶質構成成分を提供するステップと、
前記結晶性構成成分および前記非晶質構成成分と一緒に攪拌して、相転移インクのための
の混合物を形成するステップと、
相転移インクのための前記混合物を冷却するステップとを含み、前記結晶性構成成分お
よび前記非晶質構成成分はそれぞれ酒石酸のエステルである、相転移インクを調製する方
法。

【請求項 2】

冷却する前に前記混合物に着色剤が更に添加される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記結晶性構成成分および前記非晶質構成成分が 5 0 : 5 0 ~ 9 5 : 5 の重量比で存在
する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記結晶性構成成分および前記非晶質構成成分が 6 5 : 3 5 ~ 9 0 : 1 0 の重量比で存
在する、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記結晶性構成成分および前記非晶質構成成分が 7 0 : 3 0 ~ 9 0 : 1 0 の重量比で存
在する、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記非晶質構成成分が、ジ - L - メンチル L - タルトレート、ジ - D L - メンチル L -
タルトレート、ジ - L - メンチル D L - タルトレート、ジ - D L - メンチル D L - タルト
レート、ならびにそれらのあらゆる立体異性体および混合物からなる群から選択される、
請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記結晶性構成成分が、ジベンジル L - タルトレート、ジフェネチル L - タルトレート
、ビス (3 - フェニル - 1 - プロピル) L - タルトレート、ビス (2 - フェノキシエチル

) L - タルトレート、ジフェニル L - タルトレート、ビス (4 - メチルフェニル) L - タルトレート、ビス (4 - メトキシフェニル) L - タルトレート、ビス (4 - メチルベンジル) L - タルトレート、ビス (4 - メトキシベンジル) L - タルトレート、ジシクロヘキシル L - タルトレート、ビス (4 - t e r t - ブチルシクロヘキシル) L - タルトレート、ならびにそれらのあらゆる立体異性体および混合物からなる群から選択される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

溶融状態の少なくとも 1 つの結晶性構成成分を提供するステップと、

溶融状態の少なくとも 1 つの非晶質構成成分を提供するステップと、

前記結晶性構成成分および前記非晶質構成成分と一緒に攪拌して、相転移インクのための混合物を形成するステップと、

相転移インクのための前記混合物を冷却するステップとを含み、前記結晶性構成成分および前記非晶質構成成分はそれぞれアルコールとのエステル化反応によって製造される酒石酸のエステルである、相転移インクを調製する方法。